



SINCE 1728

ちかばの酪農／情報誌

らくんたより



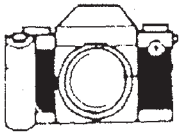
千葉県酪農農業協同組合連合会 / 千葉市若葉区富田町1033-1

☎ 043-312-8512 FAX 043-228-8338 URL <http://www.chikaba.or.jp>

Illustrated by Dairy Farmer Network/Chuo-rakunokaigi

2023 / JUL

NO. 532



第52回 通常総会



千葉県酪連は7月12日、千葉市中央区 千葉市生涯学習センターにて、第52回通常総会を開き、議長に星野皓彦氏（千葉酪農協）を選任。令和4年度事業報告、損失処理案等を原案どおり承認したほか、役員を選任に関する件について満場一致で可決しました。

購買・ヘルパー表彰

総会に先立って行われた購買事業表彰では、目標達成賞が千葉酪農協に、購買利用高上位は千葉県三和酪農協、千葉県みるく農協、千葉酪農協。それぞれに県酪連会長から表彰状、全酪連から記念品が贈られました。



(購買表彰される千葉酪)



(購買表彰される千葉県三和酪)



(購買表彰される千葉県みるく農)



ヘルパー表彰では、5年勤続された石橋和幸さん(長生地域酪農ヘルパー利用組合)、平出義徳さん(みるく農協東部ヘルパー利用組合)が表彰されました。

(左写真は、ヘルパー表彰された石橋和幸さん)

千葉県酪連 第52回通常総会開催

県酪連は、7月12日(水)「千葉市生涯学習センター大研修室」にて第52回通常総会を開催しました。議長には星野皓彦氏(千葉県酪農協組合長)を選任し、令和4年度事業報告、損失処理案、任期満了に伴う役員を選任等すべての議案を原案どおり承認しました。

飼料価格高騰緊急対策に感謝

総会の冒頭、高橋秀行県酪連会長は、次のとおり挨拶しました。

いま世界は、3年以上にも及んだコロナ禍の混乱から回復しきれない中で、ロシアのウクライナ侵攻に象徴される不条理な戦争という今世紀最大の危機に瀕しています。いまだ停戦の見通しの立たない中、未曾有のエネルギー危機と食料価格の高騰が世界中に波及し、人々の経済や暮らしに深刻な影響を与えています。

我々酪農乳業界においても強烈にその影響を受け続けており、32年ぶりの歴史的な円安も加わり、配合飼料を始め粗飼料、肥料、燃料、電気などあらゆる生産資材が暴騰しました。また、牛乳・乳製品の需要減退による生乳需給の大幅な緩和も長期化しており、これまでに経験したことのない大変厳しい局面に晒されています。

このような情勢下、昨年11月には乳価期中

改定により、飲用向け発酵乳向けについてkgあたり10円値上げが妥結され、本年4月には残りの乳製品向け学乳向けがそれぞれ同様に値上げ、これで全ての用途が10円値上げとなりました。加えて、本年8月には期中再値上げとして再び、飲用、発酵乳向け価格が10円値上がることが決まっています。

これにて事態の収束、好転が約束される水準とは言い切れませんが、牛乳乳製品の消費者価格が値上がることによる需要減退を抑える活動も含めて、これまで以上に酪農乳業界が力を合わせてこの試練を全力で乗り越えなければいけません。

昨年度、県酪連では、国や県、J-MILKの各種補助事業のほか、県酪連独自事業として性判別精液やプログラミング授精への助成を継続実施したほか、酪農経営継続危機に対する緊急支援を年末に臨時総会にて決議し実行しました。そのほかにも、飼料価格高騰緊急対策とし

らくれんだより JUL/2023 NO.532

- 千葉県酪連第52回通常総会開催/野島康祐 ①
- 7~9月期の配合飼料情勢/瀧澤秀樹 ⑤
- 検定の現場から/検定組合/岡本均 ⑥
- ミルクフェスティバル2023開催/保浦達也 ⑧
- スクリーニング検査の実施/畜産課 ⑨
- 繁殖技術講習会のお知らせ/PAG検査ウェブサイト公開のお知らせ ⑩
- らくれんだよりデータ/乳量/保浦達也 ⑪

て、国からは、経産牛 1 頭あたり 10,000 円、県からは、全ての乳牛に対して 5,000 円の助成を受けました。

この、国と県の助成事業は、今回 2 回目の実施を決めていただき、なかでも県の助成単価は乳牛 1 頭あたり 15,000 円と大きく増額いただいています。交付については、それぞれスピード感を意識して事務処理を進め、国の助成を 6 月末、県の助成を 7 月 3 日にすることができました。各関係機関の皆様には改めまして御礼申し上げます。

令和 5 年度も県酪連では、県内酪農家の継続的な支援に努め、県内酪農家を第一に、歴史と伝統のある千葉県の酪農が、長きにわたり存続できますよう、皆様のご協力をいただきながら進めてまいり所存ですので、何卒よろしく願い申し上げます。

【令和 4 年度事業報告（抜粋）】

1. 販売事業

(1) 生乳受託販売事業----令和 4 年度の生乳受託販売は、関東生乳販連の生乳需給安定化対策（第 4 期）にあたり、3 年間の「増産・維持」とした 2 年目として、生産現場での生産意欲を喚起できるよう生産基盤の維持・強化対策に努めるとしました。

本会への生乳販売委託率は引き続き 100%（他の販売事業者への委託は無し）、生産量は、189,716,479 kg、前年実績対比 98.21%、3,456t 減少と平成 21 年度以来 12 年ぶりに前年度を上回った昨年度から一転、再び減少に転じました。令和 5 年 3 月の生乳出荷戸数は 356 戸、前年同月対比 48 戸減少となりました。

一方の生乳販売は、飲用牛乳等向け処理量は、関東平均では前年実績対比 98.7%と低迷し、加工発生率も 10.38%（関東）と前年度より 0.98%4 か年続けての増加となり

ました。

生乳取引については、酪農経営の継続と将来的な生乳生産基盤維持のための乳価水準として、令和 4 年 9 月から飲用・発酵乳向け 15 円/kg の期中値上げを要請し交渉を重ねましたが、国内の生乳需給の悪化と史上最高に達している脱脂粉乳の過剰在庫懸念、交渉期間の延長による現実的な不利益などが総合的に判断され、令和 4 年 11 月から飲用・発酵乳向け 10 円/kg の値上げで決着、結果として、4 年度プール乳価は 114.893 円/kg（前年度+2.548 円）となりました。

(2) 学校給食用牛乳供給事業----供給人員は前年度対比 99.2%と前年同水準、年間供給本数は 87,253 千本（前年度対比 99.7%）、供給対象人員 1 人あたりの年間供給日数は 178.7 日（前年度+1.1 日）と本数日数ともに前年度と大きな差はなく、概ねコロナ前の水準まで回復しました。

(3) 牛乳消費拡大事業----コロナ禍により中止していた「牛乳の日イベント、ミルクフェスティバル」については、3 年ぶりに印西市の北総花の丘公園にて開催、6 月 4、5 日合わせた来場者約 12,000 と大盛況でした。このほか、牛乳の日・牛乳月間にちなんで千葉県知事への表敬訪問並びに県庁外壁への県産牛乳普及啓発の懸垂幕掲示を継続実施しました。

搾乳体験車「ちかばのまきば号」については、学校への出前授業「モーモースクール」を小学校 8 校にて実施しました。

県産牛乳普及対策については、県内農プラ支援対策事業、年賀はがきによるメール運動、インターネットホームページ等により県産牛乳の普及定着化を図りました。

2. 購買事業

米国産トウモロコシは、南米産の作付け遅れによる収量減少懸念や世界的な穀物の需給逼迫懸念があることからシカゴ相場は高騰しました。

大豆粕についても、南米産大豆の天候不順に伴う生産量減少や、需給逼迫懸念があり、高騰しました。

今期の配合飼料価格は、4月～6月期 4,200円/ト、値上げ、7月～9月期 11,200円/ト、値上げ、10月～12月期据置き、令和5年1月～3月期据置きとなりました。配合飼料価格安定制度においては、通常補填に加えて、異常補填が4期連続で発動されました。

輸入粗飼料については、米国内の早魃、穀物相場の高騰、好調な米国乳価を背景に米国内酪農家及び肥育農家の牧草需要が堅調となり産地価格が高騰しました。

令和4年度購買事業実績は、総取扱数量 29,600ト、前年対比 95.6%となりました。

3. 生産対策事業

(1) 乳牛改良事業

①登録事業——取り扱い件数は、2,128件（前年度実績対比82.4%）、血統登録全体では、81.7%にとどまり、自動登録普及の甲斐なく伸び悩みました。令和5年3月末現在の自動登録農家数は55戸（年度増減、4戸減）。

②乳用牛群検定普及定着化事業——令和5年3月末現在の検定農家戸数は115戸（新規1戸・脱退8戸）、検定頭数は6,152頭。

③乳牛共進会——第68回千葉県乳牛共進会を千葉県の後援を得て、10月25日に千葉家畜市場において4年ぶりに開催しました。

(2)酪農基盤強化事業——牛群検定事業への加入推進に努めました。また、新たな成分指標を用いた牛群検定指導（脂肪酸組成）を主眼とした研修会を実施しました。

(3) 酪農経営対策事業

①酪農ヘルパー推進対策——酪農経営支援総合対策事業（酪農経営安定化支援ヘルパー事業）を実施しました。経営安定化支援ヘルパー事業は、傷病時に酪農ヘルパーを一定期間継続的に利用するのに備えて互助基金を拠出し互助する取組みを行い、8組合、延べ37名の利用に対し一部助成し、ヘルパー長期利用の負担軽減を図りました。

千葉県単独事業である酪農ヘルパー傷病時利用支援事業については、（本会からの助成分含めて）更なる負担軽減を図りました。

令和5年3月末、利用組合総数11組合、組合加入戸数192戸、専任ヘルパー26名、臨時ヘルパー8名。

②酪農経営強化対策——令和4年度酪農経営支援総合対策事業（中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業）の「乳用牛の円滑な継承」については、12組合・95戸・14,112,000円の助成を受け、441頭が県内に継承されました。

県単独事業である令和4年度ちかばの酪農増産支援事業については、「乳量向上推進事業」（検定農家対象）に71戸・8,100,000円、「スマート畜産推進事業」に4戸・3,261,443円、検定農家対象の「ちかばの酪農夏季生産性向上対策普及事業」に1戸・271,333円の助成を受けました。

飼料価格高騰に対する緊急対策事業については、国から「国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策」として、経産牛1頭あたり10,000円を15組合・17,605頭に176,050,000円、「配合飼料価格高騰緊急特別対策事業」として第3、4四半期の配合飼料について4組合に43,167,926円。県からは「粗飼料緊急支援事業」として、乳用牛1頭あたり5,000円を15組合・26,433頭に132,165,000円、「配合飼料緊急支援事業」として、配合飼料トあたり600円を4組合

に7,929,000円の助成を受けました。

中央酪農会議と関東生乳販連が実施した「酪農経営改善・需給均衡対策事業」は、低能力牛の淘汰に対して1頭あたり50,000円を15組合・202戸・991頭に49,550,000円が交付されました。

③後継牛確保育成対策-----性判別精液導入事業を行い、10組合・72戸・568本に対し、2,345,414円を助成しました。

④プログラミング授精による繁殖向上対策事業-----繁殖成績の向上を目的としたプログラミング授精を実施した、7組合・112戸・3,340回に対し7,235,656円を助成しました。

⑤自給飼料対策-----飼料コスト低減につなげるべく、自給飼料生産農場での試行を行いました。

⑥酪農経営継続危機に対する緊急支援事業-----飼料価格やエネルギー価格の急騰により酪農経営状況が急激に悪化している状況を少しでも緩和するため、生乳出荷全戸に対し、100,586,755円を支払いました。

【購買事業褒賞要領による表彰会員】

- 目標達成賞
千葉酪農農業協同組合
- 購買利用高上位3組合
千葉県三和酪農農業協同組合
千葉県みるく農業協同組合
千葉酪農農業協同組合

【酪農ヘルパー勤続表彰者】

- 5年勤続
石橋 和幸（長生地域酪農ヘルパー利用組合）
平出 義徳（みるく農協東部ヘルパー利用組合）

【永年勤続職員表彰者】

- 30年勤続
瀧澤 秀樹

（☎野島康祐）

総会終了後の第1回理事会、監事会にて、新しい役員体制が決定しました。

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 代表理事会長 | 高橋 秀行（八千代酪農農業協同組合） |
| 副会長理事 | 安藤 真人（千葉県みるく農業協同組合） |
| 理事 | 星野 皓彦（千葉酪農農業協同組合） |
| 理事 | 高橋 憲二（千葉北部酪農農業協同組合） |
| 理事 | 柳下 雄一（千葉県三和酪農農業協同組合） |
| 理事 | 荒井 隆（全国農業協同組合連合会千葉県本部） |
| 理事 | 大塚 優（学識経験者／農事組合法人新生酪農クラブ） |
| 代表監事 | 菊地 幸雄（学識経験者／千葉県農業共済組合） |
| 監事 | 富田 耕太郎（学識経験者／公益社団法人千葉県畜産協会） |

令和5年7～9月期の配合飼料情勢

1. 主原料の米国産トウモロコシについて

6月9日米国農務省の需給予想において2023年産の生産量は152億6,500万ブッシェル(3億8,775万トン・前年比111.1%)、単収は181.5ブッシェル/エーカー、総需要量144億8,500万ブッシェル(3億6,794万トン)、期末在庫22億5,700ブッシェル(5,733万トン)、在庫率15.58%と発表されました。

米国産の順調な作付け進捗や、ブラジル産の豊作が確実視されていること、中国の引合いが弱いことから、シカゴ定期は軟化しています。

2. 副原料の油粕類の大豆粕について

ブラジル産大豆の豊作や、米国産大豆の順調な作付け進捗により、シカゴ大豆相場が下落していることから、軟調に推移しています。

3. 糟糠類について

グルテンフィードは、夏季に向け主製品の発生時期にあるため、相場は弱含みで推移しています。ふすまについては、小麦粉製品の販売は引続き低調で、在庫逼迫懸念が継続していることから、相場は底堅く推移しています。

4. 脱脂粉乳について

米国や欧州の生産生産が順調な一方で、中国の需要が低調なため、相場は軟調に推移しています。

5. 海上運賃について

中国の豪州産石炭輸入再開や、中国向けブラジル産大豆の荷動きが活発化していることから、強含みで推移しています。

6. 外国為替について

日銀が現行の金融緩和政策の維持を決定したことや、米連邦準備理事会による利上げ継続観測から、日米金利差拡大を意識した円安ドル高が進んでおり、引き続き不透明な状況が継続するものと思われる。

以上のことから、令和5年度第2四半期(7～9月)配合飼料価格につきましては、下記のとおり改定させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

(1) 配合飼料 トン当たり 1,800円値下げ(全酪連全銘柄平均)

(2) 哺育飼料 トン当たり 30,000円値下げ

なお、(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金からの令和5年度第1四半期分(4～6月)の配合飼料価格差補填金の交付は、通常価格差補填金トン当たり4,230円。国からの緊急価格差補填金の交付は、トン当たり2,820円で決定いたしました。

(△)瀧澤秀樹

検定の現場から その99



皆さん、毎日暑いですね……。朝夕の搾乳時間も25℃を超える日が続いていますので熱中症対策を講じながら作業をお願いします。

・牛群の繁殖による経済損失を知ろう！

分娩間隔が約365日（1年1産）が、最も高い利益を牛群に与えると言われていています。しかし、年々分娩間隔は延長して来ています。

分娩間隔が延長して来ている要因としては、さまざまな事が考えられますが、主な要因としては発情発見率の低下と人工授精受胎率の低下からくる空胎日数の延長が考えられます。

なぜ発情発見率が低下しているのか？考えられる背景としては、増頭など牛群が大きくなった事、たい肥の管理・日々の記帳の義務など労働負担が多くなってきている事、日々多忙な中、乳牛1頭当りに要する発情観察時間が短くなって来ているのではないのでしょうか。また、改良が進んで来ている事から、産乳量増加に伴う発情兆候の不明確（サイレントヒート）が考えられます。

・空胎日数遅れの経済損失は400万円超え

さて、牛群全体を1年1産させるためには、

分娩間隔365日－妊娠期間281日＝84日（空胎日数）

つまり、分娩後84日までに全頭を妊娠させなければならない事になります。

しかし、現状としては空胎日数は年々延びて来ています。令和4年度千葉県の実績成績から見ると分娩間隔は439日となります。

分娩間隔439日－妊娠期間281日＝158日（空胎日数）

となり、空胎日数目標値85～115日（下記牛群の繁殖目標値参照）を大きく上回っています。

牛群の繁殖目標値	（目標値）	（問題値）
・分娩後初回授精日数	60－70日	80日以上
・初回授精受胎率	50－60%	50%以下
・1受胎当り授精回数	1.7－2.2回	
・空胎日数	85－115日	115日以上
・分娩間隔	365－395日	395日以上
・繁殖障害による淘汰率	8%以下	

それでは、どれだけ経済損失があるかを計算してみましょう！

現状を、先に求めた空胎日数158日とし、目標とするの空胎日数値を115日とします。

牛群平均空胎日数158日－空胎日数目標値115日＝43日（損失ポイント）

これを搾乳牛1頭当り1日の必要経費約2,380円（令和3年度農林水産省畜産物生産費統計関東平均より算出）と牛群頭数（仮に40頭とします）をかけて求められた金額が損失金額です。

2,380円（1日の必要経費）×43日（損失ポイント）

×40頭＝4,093,600円（収益損失）

なんと **409万もの経済損失** をしている事がわかりました。

この経済損失をいかに少なくしていくかが、今、畜主さんに求められている課題です！

・第20回定期総会を開催！！

6月16日千葉市民会館会議室にて第20回定期総会を開催しました。新型コロナウイルスが5類になった事もあり、通常開催で行いました。また、コロナで培ったオンラインによる会議も併用して開催し、多くの検定農家の参加をいただきました。来賓に千葉県酪連会長・県畜産課・県担い手支援課・畜産協会・農業共済連・他関係機関など多くの出席を頂きました。総会冒頭に糟谷組合長より、酪農情勢は未だ厳しい状況であり全国的に多くの廃業が目立って来ています。そして、行政よりの支援を頂いていることはとてもありがたく感じております。検定組合としても2年おきに実施しております継続加入推進費を単年度で実施する事を3月の役員会で決議し、検定組合としても将来の酪農経営の役に立つような情報を提供しながら進めて行きたいと挨拶をしました。引き続き議事に入り「令和4年度事業報告・決算報告」、「令和5年度事業計画・収支予算」、「令和5年度負担金額・徴収方法」の提出議案の全ての承認を頂きました。



・講習会「ヒートストレスを科学しよう」！



総会終了後3年ぶりに講習会を開催しました。

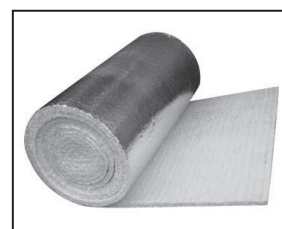
講師に、北海道デーリーマネージメントサービス有限会社で畜産衛生獣医学博士・獣医師の榎谷 雅文氏による「ヒートストレスを科学しよう」の題目で講演を行いました。

ボリュームある内容ですが少し紹介します。

・ヒートストレスの徴候：①1分当たりの呼吸数が80回を超える牛が10頭中7頭以上入れれば救済が必要。②直腸温度が39.2℃以上の牛が10頭中7頭以上入れれば救済が必要。③暑い天候で乾物摂取量が10%以上減少すれば救済が必要。④暑い天候で産乳量が10%以上低下すれば救済が必要。

・換気と暑熱対策：①換気とは牛舎内の悪い空気が外に出て、外部の新鮮な空気が牛舎内に入り、空気が入れ替わる事を意味する。②換気は夏冬通して必要であり、暑熱対策は暑さの厳しい(牛にとって厳しい)夏場だけが必要なもの。③「換気」と「暑熱対策」が一緒になっている酪農家のが多く、扇風機をただ多く取り付ければいいと考えている酪農家が多い。

・建物編：基本的知識として、熱(暑さ)の伝わり方は伝導・対流・輻射の3種類で、熱エネルギーは温度の高い方から温度の低い方へ流れる。[具体的対策]①牛舎周辺の緑化。②屋根の蓄熱防止及び屋根裏の断熱は、断熱材を屋根裏に設置(右写真の市販の断熱シートを自分で張り付ける。個人的におすすめ!)や断熱塗料を屋根に塗る。屋根のスプリンクラーでの散水。③直射日光を防ぐのに、グリーンカーテンの設置・すだれ・よしずの利用。



・牛編：牛体(皮ふ)を直接濡らし、風を当てることが一番効果があった。①実施は最高気温が28℃を超える日。②実施時間の優先順位は午後2時頃→夕方搾乳時間→夜→朝の搾乳時間の順で農場の作業手順で負担にならない時間を選択。また牛体シャワー実施に当たっては水源確保や排水対策が必要。最後に実施農家談ですが乳房炎の発生は夏場はシャワーを行わなくても発生するので秋口の牛の回復が良いので実施しているとの事です。

(千葉県乳用牛群改良検定組合スーパー検定員・岡本均)

6月1日は「牛乳の日」6月は「牛乳月間」 “ミルクフェスティバル2023”を開催しました

ミルクフェスティバル2023を千葉市の千葉ポートパークにて、令和5年6月3日(土)4日(日)の2日間にわたり開催しました。

初日の午前中は大雨に見舞われましたが、午後には雨がやみ、2日目は快晴に恵まれ、多くの方が来場しました。

酪農ブースでは、さまざまなイベントを催しました。模擬搾乳体験、頭絡投げコーナー、牧草重量あてゲーム、ロールベールラップサイロに落書きコーナー。さらに、ポニーの乗馬や乳しぼりゲームなど、子供から大人まで、楽しむことが出来たかと思います。



【頭絡投げコーナー】

今回の新たな取り組みとして「親牛の生体展示及び搾乳実演」を行いました。

訪れた消費者には、普段目にする事のないミルカーを使用した搾乳の様子を興味深く見て頂けました。また、子供たちには牛乳がどの様に作られるのか、生産者から優しく訴えかける事も出来たのではないのでしょうか。



【親牛・生体展示コーナー】

イベントは2日間を通じて約12,000人もの来場があり、生産者と消費者が、直接交流ができたことで、酪農理解醸成及び、牛乳消費への関心が高まったと思います。

今年のミルクフェスティバル2023酪農ブースには、多くの酪農家及び農協職員・乳業メーカーに協力いただき、無事に終了することができました。ありがとうございました。

(保浦達也)



繁殖技術講習会のお知らせ

千葉県家畜人工授精師協会では、初めての試みとして、牛の人工授精技術の向上を目的に、供試牛等を用いて講習会を行います。

日 時 令和5年9月22日 午前11時から午後2時30分
会 場 八街市 千葉県畜産総合研究センター
募集人数 概ね15人程度
対 象 本会会員(授精業務実施者)及び自家授精を行っている酪農家
講 師 本会会員(共済組合授精師、獣医師等)
講習内容 と体子宮を用いた授精手技(卵巣や子宮の触診診断方法)
乳牛成雌牛を用いた直腸検査実習
費 用 無料(会場までの交通費は負担願います)
申込締切 令和5年8月31日(木)

*参加希望の方は授精師協会事務局(県酪連業務課内・TEL:043-312-8513)へ連絡をお願いします。
*人数制限がありますので、先着順とさせていただきます。また、詳細は受講者決定後お知らせします。

生乳受託団体解散のお知らせ

令和5年6月末日をもって、長生酪農農業協同組合が解散し、清算事務に入りました。

PAG検査.comウェブサイト公開のお知らせ

この度、アイデックスラボラトリーズ株式会社より
牛の妊娠確認を目的としたPAG検査サービスについて、
下記ウェブサイトが公開されました。

是非、この機会にお試しを！！

【ウェブサイトURL及びQRコード】

<https://pag-test.com>

1検体あたり700円(税別)

検査依頼書、サンプル容器は所属組合、各CS、
県酪連よりお送りいたしますので、
お問い合わせくださいますようお願いいたします。(詳細は前号に掲載)



●生乳受託販売実績

①令和5年度4月～6月分受託販売実績[関東生乳販連] (kg)

都府県別	数量	前年比	用途別	数量	前年比
茨城	46,495,630	98.4	飲用牛乳向け	198,793,252	97.3
栃木	84,034,175	93.8	(うち学校向け)	33,429,155	100.1
群馬	42,382,595	96.0	はっ酵乳向け	35,162,658	95.9
埼玉	10,424,774	87.5	特定乳製品向け	27,499,451	83.0
千葉	48,360,623	95.9	(うち委託加工向け)		
東京	2,101,689	94.6	生クリーム向け	3,049,825	95.5
神奈川	6,338,755	87.9	チーズ向け	330,688	101.6
山梨	3,268,445	90.2	全乳哺育向け		
静岡	21,429,188	101.0	総受託乳量	264,835,874	95.4
合計	264,835,874	95.4	加工比率	10.38% (前年同期 11.93%)	

②令和5年度4月～6月分受託販売実績[県酪連] (kg)

乳業者	数量	前年比	備考	乳業者	数量	前年比	備考
明治神奈川	2,353,406	98.91		ちば南房総	8,565	99.33	
森永東京多摩	2,495,680	99.62		秋葉乳業	38,383	107.51	
横浜森永乳業	2,657,580	92.90		新生酪農	801,933	75.36	
計	5,153,260	96.04		協同牛乳	90,000	100.00	全酪再
雪印メグ野田	8,734,525	97.58	全農、全酪再 茨城県西CS含	小見川牛乳	13,800	96.50	
協同千葉	1,943,210	94.98	全農再含	JAちば東葛	1,360	115.25	
コーン乳業	9,577,143	95.21	全農再含	その他全酪再委託	0		全酪再
古谷乳業	8,749,018	95.02	全農再含	その他全農再委託	176,430	99.76	全農再
効ナシ横浜	3,685,063	87.99		その他一般	0		
君津牛乳	228,890	94.31		委託加工	0		
トッパンパッケージング	13,000	84.86					
千葉酪	5,492,530	105.34					
千葉北部酪	1,300,107	95.36		合計(Kg)	48,360,623	95.91	

③令和5年度団体別生乳販売委託実績(kg)

	委託団体	4月	5月	6月	4～6月累計	前年比
1	千葉県みるく農	4,274,344	4,268,283	3,860,722	12,403,349	89.46
2	長生酪	70,382	71,841	66,435	208,658	49.29
3	千葉酪	741,506	742,240	669,540	2,153,286	92.39
4	千葉北部酪	461,708	460,396	412,972	1,335,076	76.02
5	八千代酪	1,327,369	1,352,941	1,240,361	3,920,671	91.04
6	千葉県三和酪	7,252,472	7,475,336	7,014,477	21,742,285	106.44
7	新生酪農クラブ	241,110	240,582	215,077	696,769	65.33
8	全農千葉県本部	2,024,334	2,029,979	1,846,216	5,900,529	94.43
	合計	16,393,225	16,641,598	15,325,800	48,360,623	95.91

今年も猛暑の季節となつてまいりました。農作業においても熱中症には十分に気を付け、こまめな水分補給をお願い致します。暑い夏を牛乳を飲んで乗り切っていきましょう。(㊦保浦達也)

第69回 千葉県乳牛共進会

日 時 : 令和5年10月24日(火)

場 所 : 千葉家畜市場

出品頭数 : 80頭以内

第20回関東地区

ホルスタイン共進会

日 時 : 令和5年11月15日(水)・16日(木)

場 所 : 千葉家畜市場



牛群審査

5月31日～6月7日・6月13～15日
(安房地域)に、(一社)日本ホルスタイン登録協会 植原審査員の派遣を受け、牛群審査、後代検定娘牛体型調査、ロボット適合調査を行いました。

訪問前後の消毒等万全のコロナ感染対策を行い、延べ18戸、約201頭の審査、体型調査約123頭、ロボット適合調査約20頭の調査を実施しました。



千葉県知事へ表敬訪問

6月の牛乳月間にちなみ、3年続けてとなりました千葉県知事への表敬訪問を行いました。令和の酪農危機と呼ばれる中、マスコミの注目度も高く、多くの媒体に取り上げてもらいました。

知事は、「子供のころから牛乳が大好きで、牛乳は切っても切れない存在だ」と発言され、この日も県産牛乳を美味しく飲みに干していただきました。



第15回関東生乳品質改善共励会表彰式



第15回関東生乳品質改善共励会表彰式が、7月19日に「東京ガーデンパレス」(お茶の水)において開催されました。

千葉県からは、最優秀賞に(株)須藤牧場(千葉県みるく農協)、石井正美氏(同)、優秀賞に伊藤博氏(千葉県三和酪農協)、飯田光央氏(千葉酪農協)、今関哲男氏(新生酪農クラブ)が表彰されました。

(写真左から飯田光央氏、須藤健太氏、高橋県酪連会長、石井智規氏、伊藤廣紀氏、今関哲男氏は欠席)

らくれんだより

2023年7月24日発行

(定価・1部35円)

■発行・千葉県酪農農業協同組合連合会
〒265-0041 千葉市若葉区富田町 1033-1

☎043-312-8512 FAX043-228-8338

■印刷・(有)M・ワールド

ホルスタイン雌子牛“強化”哺育[®]用
カーホップ EX
エクセレント

**初乳
粉末
製品**

強化哺育[®]

和牛・F1子牛“強化”哺育[®]用
カーホップ EX ブラック

**GOOD
START**

PREMIUM

千葉県路連 業務課 全路連 東京支所
 Tel.043 (312) 8513 Tel.03 (5931) 8011

DeLaval

搾乳ロボットVMS・V300

豊かな畜産経営に奉仕する
 株式会社 **ニッサク**

本社: 千葉県香取市山倉1692
 TEL. 0478-79-2131

南房総営業所:
 南房総市白浜町溝口6891-1
 TEL. 0470-29-7181

<http://www.nissaku-c.co.jp>
 E-mail:nissaku@iaa.itkeeper.ne.jp

理想的な高品質乳生産

Dairy Robot R9500
デーリーロボット

MULTI BOXタイプ

SINGLE BOXタイプ

中央オリオン株式会社 千葉営業所 TEL 043-228-8501代
 安房営業所 TEL 0470-36-2761代

畜産経営のIT化をトータルサポート!

一歩先の農業経営へ!

農業ソフト…農業簿記
 決算から申告まで農業会計をトータルにサポート
 青色申告・白色申告両対応/個人・法人両対応/最新税制に対応!
 減価償却資産・育成資産管理/不動産管理機能など

ハードウェア…Fujitsu その他各種メーカー

OCE **大崎コンピューターエンジニアリング**
 千葉市中央区問屋町1番35号 (千葉ポートサイドタワー23階)
 TEL 043 (246) 3671

“Fine Technology をさらに展開しサニタリー
 エンジニアリングを通して豊かな暮らしに貢献する”

ヤスダファインテ株式会社

■クーラーステーション設備
 ■ミルクローリー ■流量計装置

FINÉTE

本社・工場 千葉県鴨川市北風原938
 TEL:04-7097-1231
 東京 本部 東京都墨田区東駒形4-12-10
 TEL:03-3625-3481